

2021年度

第一回 一般入試

時間50分 100点満点

# 国語

## 受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施時間は50分で、100点満点です。時間配分に注意して解答してください。
3. 解答は解答用紙にていねいに記入してください。
4. 解答用紙・問題用紙両方に、受験番号、座席番号、名前を記入してください。座席番号は、机に貼ってある番号のことです。
5. 試験中は携帯電話の電源を必ず切ってください。
6. 私語や物の貸し借りなどは認めていません。困ったことがある場合は、手をあげて先生に相談しその指示に従ってください。

受験番号 \_\_\_\_\_ 座席番号 \_\_\_\_\_

名 前 \_\_\_\_\_

聖学院中学校



——の漢字の読みを答えなさい。

- ① 友だちからのたのみことを承知した。
- ② 観衆からの注目をあびる。
- ③ 日本列島を縦断する旅に出る。
- ④ 山の中腹にまでたどり着いた。
- ⑤ すばらしい演技に舌をまく。
- ⑥ お店の人からつり銭を受け取った。
- ⑦ 会場へ入るために券を買う。
- ⑧ 母はどちらかといえば洋画のほうが好きだ。
- ⑨ スパイの密告によって真実が明かされた。
- ⑩ チームの横断幕が選手を勇気づけた。



——のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 病人を助けるにはユケツが必要だ。
- ② テンランカイの準備を進める。
- ③ 努力のカテイを評価された。
- ④ 野球の大会は雨天でエンキになった。
- ⑤ 公園でのボール遊びをキンじられた。
- ⑥ 貴重な写真が火事でヤけてしまった。
- ⑦ どんな人にもキユウソクは必要だ。
- ⑧ 朝はかならず天気ヨホウをみる。
- ⑨ 頭を打ってイシキがはっきりしない。
- ⑩ 父はとてもジュンスイな人だ。

〔二〕 次の文章を読み、後の問に答えなさい。(、や。なども二字とします)

女性教員たちと母親たちが始めた制服のリサイクル活動は、50円や100円で制服を売ることが目的で行われているわけではない。だから、制服が必要な生徒を知っていたら、販売会まで待たずとも、自由にあげていいよ」と言われた。

真っ先に思いついたのは、息子の友人のタイムのことだった。学校帰りにうちの息子と一緒に歩いている姿を見かけたとき、制服のトレーナーがずいぶん年季が入った ※1 感じに変色し、ズボンの裾が擦れてギザギザになっていたことを思い出したからだ。

週末にミシンで作業していると息子が言った。

ねえ、母ちゃんが縫ってる制服、僕が買うことは許されてるの？」

え？ でもあんた制服は全部2枚ずつ持ってるじゃん。どっかほつれてるならいま一緒に縫っちゃうから持ってきて」

「いや、僕じゃないんだ。友だちにあげたいんだけど……」

「……タイム？」

同じことを考えていたのかなと思って尋ねると息子は頷いた。

トレーナーの肘のところが薄くなってきたて、なんかちよつと、腕が透けて見えちゃうようになったから、お兄ちゃんのお古のトレーナーを着て来るようになったんだけど、トレーナーの袖や丈が長すぎて、笑ってるやつらとかいてムカつくんだ」

「いつもそうやって必ず笑うやつらがいるんだよね」

むしもまた学校で喧嘩とかしちゃったら、今度はタイム、停学とか大変なことになっちゃうかもしれないし」

息子は学級委員っぽい神妙な顔つきで言った(いつの間にか彼は今度は学級委員になってしまっているのだった)。

持ってたっていいよ。袋の中から小さいサイズを探して持ってきて。先に縫っちゃうから。2枚ぐらい持ってたってあげたら

いい。あと、ズボンも」

と言うと、居間に並べてある黒いゴミ袋を開いてごそごそと中古の制服を物色し始めた。が、急に手を止め、こちらを振り返って言った。

①でも、どうやって渡せばいいんだろう」

え？」

学校に持って行って渡すのは、ちょっと難しいと思う」

ああ、そうだね」

息子は人目のあるところでは渡しにくいと言っているのであり、それはなぜかという、タイムが受け取りにくいからだということがわかる年頃になったのだ。

サユックの中に入れておいて、帰り道で2人になったときに渡せば？」

とわたしが提案すると、息子は言った。

それもなんとなくわざとらしいってどうか、第一、何て切り出せばいいの？」

「……」

確かにそうである。②高校時代に、貧乏といったら死ぬ、と私が思っていたように、タイムだって友達たちから制服をもらって嬉しいとは限らない。傷つけてしまう可能性もある。

むかし、貧困家庭の人々が集まる託児所たくじしょに勤めていた頃は、その託児所たくじしょじたいが低所得者や無職者を支援するセンターの中にあつたから、こういうことは考えずに物をあげたり、もらったりした。そこに来ているのはみんな困っている人々だという大前提があつたので、利用者たちの間では、気取る必要も、恥はじをかくという意識もなかつたのである。

③けれどもその貧者の相互扶助サークルは閉じた特殊な世界でもあったのだ。

一步その外側に出れば、困っている人を助けるということはこんなにもトリッキーな ※2) ことになり得る。  
学校帰りに、うちに連れておいで」

そうは言ったものの、彼の前でこれ見よがしにガタガタとミシンをかけながら、あれー、このサイズ、ちょうどタイムぐらいじゃん、持って帰る？」とか言うのもなんかベタ過ぎる ※3) よなあとか、これだけあるんだからこっそり好きなもの持って帰っていいよ」とか言って自分で袋の中を物色させたとしてもタイムのサイズの制服だけでにちゃんつくろと繕ってあるのも変だよなあとか、考えている間に月曜日がやってきて、学校帰りに息子がタイムを連れてきた。

とりあえず、なんとなくミシン作業をはじめておこう、と決めて居間に制服のゴミ袋を並べてミシンをかけながら2人の到着を待っていたのだが、息子と一緒に部屋に入ってきたタイムは、制服の山に目を留めた。

何、これ」

④母ちゃんが、制服のリサイクルを手伝い始めたんだ。ほら、ミセス・パープルがやってるやつ。不要な制服があったら持って来いって、こないだもプリント配ってたじゃん」

ふうん」

2人はソファに腰かけてゲームを始めた。熱中している様子なので、とりあえずジュースとお菓子かしを出し、そのままわたしもミシン作業を行っていたのだが、突然タイムの兄から彼の携帯けいたいに電話がかかってきた。すぐ帰ってくるように言われたという。タイムの母親の妹が、小学生の子どもの預けに来たらしいが、タイムの母親は仕事のシフトが入ったから、従弟の面倒めんどうを見るのを手伝えと言われたらしい。

うちの叔母ちゃんおばの子ども、双子ふたごなんだけど、わがままで大変なんだ。兄ちゃんあにちゃんはキレやすいタイプだから、僕が帰ったほ

うがいいと思う」

そう言ってタイムがソファから腰を上げた。

こんなにすぐ帰るとは想定してなかったので、えっ、まだ制服を渡していないじゃん、と焦あせっていると、息子も同じことを考えているようで、わたしのほうを振り向いた。タイムのためにとっておいた制服は紙袋に入れてミシンの脇わきに置いてある。あれー、これタイムのサイズじゃん」とかいうわざとらしい芝居しばいをする準備もまだ全くしていなかったのである。

母ちゃん、それ」

と息子が言うので、わたしは急いで紙袋を彼に渡した。玄関げんかんのほうに歩いていくタイムの後ろを袋を下げた息子が追いかけていく。

タイム、これ持って帰る？」

息子はそう言ってタイムに紙袋を差し出した。タイムは「何、これ？」と言ってそれを受け取り、中に手を入れて制服を出した。

母ちゃんが繕はらったやつ。ちょうど僕たちのサイズがあったからくすねちやっただけど ※4。タイムも、いる？」

タイムはじっと息子の顔を見ていた。

持って帰って、いいの？」

もちろん」

じゃあ、お金はら払はらう。だってミセス・パープルが怒おこるだろ。今度来るときに持ってくる」

タイムがそう言うので、わたしが脇わきから彼を納得させるために言った。

気にしなくていいよ。どうせいくつ制服があるかなんて誰だれも数えてないんだし。それに、わたしがお直し不可能と判断した

制服は捨てていいことになっているから、全然問題ない」

ティムは半信半疑というような目つきでこちらに「瞥いちふくをくれた ※5。

⑤ でも、どうして僕にくれるの？」

ティムは大きな緑色の瞳ひとみで息子を見ながら言った。

質問されているのは息子なのに、わたしのほうが彼の目に胸むねを射抜ぬかれたような気分になって所在なく立っていると、息子が言った。

友だちだから。君は僕の友だちだからだよ」

ティムは「サンクス」と言っいって紙袋の中に制服せいじふを戻し、息子とハイタッチを交まじわして玄関けんから出て行った。

「バイ」

「バイ。また明日、学校でね」

玄関の脇の窓から、シルバードロンドの小柄こがらな少年が高台にある公営団地に向かむって紙袋を揺ゆらしながら坂道を登のぼって行く後ろ姿が見えた。

途中とちゆう、右手の甲こうでティムが両目を擦こるような仕草をした。彼が同じことをもう一度繰り返したとき、息子がぼつりと言いった。

「ティムも母ちゃんと一緒に花粉症しんじょうなんだよね。晴れた日はつらそう」

⑥ うん。今日、マジで花粉が飛んでるもん。今年で一番ひどいんじゃないかな」

息子はいつまでも窓の脇に立ち、ガラスの向こうに小さくなっていく友人の姿を見送おくっていた。ティムの手元でぶらぶら揺れる日本の福砂屋のカステラの黄色い紙袋が、初夏の強い光を反射しながらかてかてと光あっていた。

『ズレイデイみかこ ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

注釈

- ※1 年季が入った……よく使いこまれた様子
- ※2 トリックシーナ……罨やひっかけがあつて油断ならないさま
- ※3 ベタ過ぎる……ありきたりなこと
- ※4 くすねる……こっそりごまかして自分のものとする事
- ※5 一瞥をくれる……ちらっと見ること

問一——①について、息子がそのように迷った理由としてもっともふさわしいものを選びなさい。

- ア 学校の中でリサイクル品を渡すと、タイムのことをからかう人たちに邪魔じゃまされると考えたから。
- イ 売らなければならないリサイクル品を無料で渡したと知られたら、先生から叱しかられると考えたから。
- ウ 学校でからかわれているタイムに制服を渡したと知られたら、自分もからかわれると考えたから。
- エ 学校の中で渡すと、タイムがリサイクル品をもらったことが周りに知られてしまうと考えたから。

問二——②について、なぜそのように想像したのですか。説明としてみっともふさわしいものを選びなさい。

ア ティムは自分が貧乏だと感じずに過ごせているのに、それを自覚させてしまう危険性があると考えたから。

イ ティムに貧乏だということを自覚させてしまい、はずかしいと思わせてしまう可能性があると考えたから。

ウ ティムの制服は傷んでいるけれども、あえて新しい制服を買わない理由があるのかもしれないと考えたから。

エ ティムはかつての自分と同じ状況だから、家が貧乏なことを気にしていない可能性もあると考えたから。

問三——③について、どのような点が「特殊」のですか。説明としてみっともふさわしいものを選びなさい。

ア 世の中には裕福な人も貧しい人もいるが、サークルでは貧しい人ばかりが集まっていた点。

イ 貧しい人ばかりが集まる場所ゆえに、自分が貧しいことを周りに隠す必要がなかった点。

ウ 他人を助ける余裕がないにもかかわらず、そこにいる人たちは自然と助け合いをしていた点。

エ 同じ立場の人たちが集まっていたため、人と人との結束力がいっそう強かった点。

問四——④について、ここで息子がティムに制服を渡さなかった理由としてみっともふさわしいものを選びなさい。

ア あとで渡したほうがティムが喜んでくれると判断したから。

イ ティムに渡す予定の制服を母がまだ修理できていないから。

ウ 制服を渡すよりも先にふたりでゲームをしたいと考えたから。

エ どのように渡せばティムが傷つけずにすむのかわからないから。

問五 — ⑤について、このときのチームの心情としてもっともふさわしいものを選びなさい。

ア 友人が制服をくれることはうれいけれども、人前で喜ぶことは恥ずかしいことだと考えている。

イ 期せずして制服をもらえることに喜ぶながらも、急に友人から親切にされて戸惑いとまどを覚えている。

ウ 自分が古くなった制服のことを気にしており、それを見透かされて指摘されたよういで怒りを感じている。

エ 制服を手に入れるチャンスだが、いくら払えはらばゆずってもらえるのかわからず回答に困っている。

問六 — ⑥について、母がこのように言う背景にはどのような気持ちがありますか。もっともふさわしいものを選びなさい。

ア 自分と同じアレルギー症状をもっているチームのつらさに共感する気持ち。

イ ティムのことを花粉症だという息子の心配りを受け止めようとする気持ち。

ウ ティムにさりげなく制服を渡すことができ晴れ晴れとした気持ち。

エ 自分がティムの立場だったらつらい思いをしただろうと後悔こうかいする気持ち。

③ 次の文章を読み、後の問に答えなさい。(、や。なども一字とします)

大昔には、「お金」などというものは存在していませんでした。もともとはみな物々交換こうかんをして欲しいものを手に入れました。でも実のところ、物々交換というのは非常に効率が悪いものなのです。仕組みはともわかりやすいのですが、商談そのものがなかなか成立しません。たとえば、魚を持っている人が肉を食べたいという時は、肉を持っていかぬ魚を食べたいと考えている人と出会わないと取引が成立しません。つまり確率で考えてみると、①商談成立の可能性がとても低いのです。

そこで、少しでも条件の合う人同士が「出会う」可能性を高めるために、始まったのが「市場」でした。つまり、何か欲しいものがある人はどこかに集まろう。たくさん的人数が集まれば、条件が合う人もいるだろう」と考えたわけですね。「婚活」のための、合コンや結婚相談所のようなものでしょうか。これは、非常に合理的なアイデアでした。この市場ができたことにより、取引が成立する確率は飛躍ひやく的に上がるようになります。

でもいくら多くの人が広場に集まったとはいっても、その中からなかなか交換条件のぴったり合う人を探すのは大変です。もう一つ工夫が欲しい。そこで、とりあえず「みんなが欲しいがる物」と自分の持ち物を交換しておくことが実行されるようになります。自分がいつも「みんなが欲しいがる物」を持っていけば、魚でも肉でも「自分の欲しい物」を持っている人を見つけた時点ですぐに交換することができる、というわけです。

こうした流れの中で、交換する元となる「みんなが欲しいがる共通の物」が生まれてきました。日本の場合、それは稲いねでした。つまりお米です。現代日本は飽食の時代を迎えて、米が余って値崩くずれしないように、わざと生産調整をしているような状態ですが、昔はそれはそれは貴重品でした。つまり「みんなが欲しいがる物」だったのです。

「当時は稲を「ネ」と発音していました。それで「これはどれだけのネと交換できるの?」「これはどれだけのネになるの?」

という会話が一般的になされるようになり、そこから財物の価値のことを「ネ」と呼ぶようになりました。これが値段の「値」の語源です。

実は稲の他に日本で使われた みんなが欲しがる共通の物」がもう一つあります。布です。布は、切ったり縫ったりすることで、着るものや、履くものにしたたり、部屋の飾りにしたり……、とさまざまな物に換えることができます。つまり、交換用品として優れていたのです。紙幣の「幣」の字は、「布」という意味。ここにも痕跡が残っています。

とりあえず自分の持ち物を布か稲に交換しておき、あなたかこれを肉と交換してくれませんか？」と市場の中を聞いて回る。これが市場を効率よく利用する一般的なスタイルになりました。このようにして、物と物をつなぐ、②仲立ち物」が生まれたわけです。

ちなみに中国では、「仲立ち物」として、珍しい貝が選ばれました。子安貝です。模様の綺麗な貝殻でみんなが欲しがるので、とりあえず子安貝を持っておけば、いつでも他の物と交換することができる。そして実はこの子安貝が「お金」の起源なのです。

ちょっと注意してお金に関係した漢字を見てみてください。すべて「貝」が入っていますね。貴重品の「貴」の下の部分。貧しいの「貧」の下の部分。貨幣の「貨」の下の部分。購買の「購」の左側。賄賂という字にも妙に多くの貝の字が入っていますね。「買う」という字の下の部分にも入っている。「売る」という字には入っていないかと思う人もいるかもしれませんが、「売」の旧字は「賣」です。どうですか、ちゃんと下に貝が付いているでしょう。このようにお金に関する漢字にはすべて貝が入っているのです。

ここでマメ知識を一つ。古代ローマでは兵士への給料は塩でした。当時、塩は貴重品だったのです。とりあえず塩を持っていけば、他の物いつでも交換できた。ラテン語では、塩のことをサラリウムと言います。ここから③「サラリー」という言

葉が生まれたわけです。

ご紹介した通り、「お金」の起源としては、稲、布、貝、塩……など地域によってさまざまなものが使われていました。しかし時代が下るにつれて、やはりこれは使いにくい」という反省も出てきますし、他の地域では「こんなに便利なものを使っているぞ」という情報も伝わってきます。そうした競争・淘汰を経る中で、もつとも「使い勝手の良い物」とされたのが、金・銀・銅でした。

まず金・銀・銅はすぐには手に入りません。道端に転がっているわけではない、Aです。つまり、みんなが欲しがって共通の物」として非常に価値が高いわけです。金は今でも非常に価値がありますね。さらに大切なことは、金・銀・銅は、現代から考えれば本当に幼稚な古代の技術力でも簡単に溶かすことができたことです。溶かして鑄型に流し込むことで、持ち運びのしやすい金貨・銀貨・銅貨を作ることができたんですね。こうして世界的に金・銀・銅が「お金」として使われるようになっていきました。

さらに時代が下ると、「お金」を介して大規模な商取引も行われるようになります。すると金貨・銀貨・銅貨をジャラジャラ持って歩くのは危険だということになる。単純に重たいですし、途中で強盗にあうかもしれない。そこでみんなどうしたのか。④金貨や銀貨をたくさん持っているお金持ちのところへ行って、自分の持っている金貨・銀貨を預けたのです。するとそのお金持ちは、「確かに預かりました」と、預かり証を発行してくれる。その書付を持ってくれば、いつでも金貨と交換してあげますよ」というわけです。

お金持ちには「信用」があります。あのお金持ちならお金をたくさん持っているから、この「預かり証」さえ持っていけば、いつでも必ず金貨に換えてくれる。みんながそう信用した瞬間から、お金持ちに発行してもらった「預かり証」を商取引の前に金貨に換える必要がなくなります。つまり、「いつでも絶対に金貨に換えてもらえる」という信用を背景にして、「預かり

証」のまま他の物と交換できるようになるわけです。こうして金貨・銀貨・銅貨から、⑤「預かり証」自体が「お金」になっていきます。紙の「預かり証」ならば折りたたんで持ち運びできる。何より軽いし、強盗にあう心配もかなり減らすことができます。これが「紙幣」の始まりです。

結局、お金というのは、欲しい物を得るための「交換手段」です。場所もそれほど取らず、長時間保管しておいても腐くさらない、とても便利なもの。でもあくまで「交換手段」ですから、お金だけをどれだけたくさん持っていたても仕方ありません。使ってこそ価値が出る。それがお金だとも言えます。

池上彰 『知らないと損する池上彰のお金の学校』

問一——① 商談成立の可能性」が高い場面は、次のうちどれですか。もっともふさわしいものを選びなさい。

- ア 野菜を持っている人が肉を食べたい時に、野菜を持っていかも肉を食べたいと考えている人と出会う場合。
- イ 肉を持っている人が野菜を食べたい時に、野菜を持っていかも肉を食べたいと考えている人と出会う場合。
- ウ 魚を持っている人が肉を食べたい時に、野菜を持っていかも魚を食べたいと考えている人と出会う場合。
- エ 肉を持っている人が魚を食べたい時に、魚を持っていかも野菜を食べたいと考えている人と出会う場合。

問二——② 仲立ち物」とはどのようなものですか。もっともふさわしいものを選びなさい。

- ア お米のように持ち運びが便利で、市場に持っていくことが容易なもの。
- イ 布のように簡単に手に入り、誰もが人にゆずってもいいと考えるもの。
- ウ 実用性のある金のように、生活必需品ひつじぶひんとしてみなされているもの。
- エ 中国ではめずらしい子安貝のように、みんながほしがる希少なもの。

問三——③ サラリー」と同じ意味で使われている語句をここより前の文章から探し、二文字でぬき出しなさい。

問四 A に入る語句として正しいものを本文中から漢字三文字でぬき出しなさい。

問五 — ④について、現代の日本においてこのようなはたらきをもっているところはどこですか。具体例を単語で答えなさい。

問六 — ⑤ 『預かり証』自体が 『お金』 になっていきます」とありますが、その理由としてもっともふさわしいものを選びなさい。

ア 預かり証」を多く持っている人がお金持ちとみなされるようになったから。

イ 預かり証」は貴重品として多くの人がほしがるものになったから。

ウ 預かり証」さえあればいつでも金貨を手に入れることができるから。

エ 預かり証」をお店に持っていけば商品と交換することができるから。

問七 筆者が説明する お金」の特徴として、もっともふさわしいものを選びなさい。

ア かつての稲や貝は みんなが欲しがる共通の物」であり、それは現代社会でも変わらない。

イ かつての稲や貝は 交換手段」としてすぐれており、大規模な商取引で使われていた。

ウ かつての稲や貝は みんなが欲しがる物」で、現代のお金はみんなが信用するものである。

エ かつての稲や貝は物と物をつなぐ 仲立ち物」で、現代でもその役割を果たしている。

四							三						二		一	
問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一	問六	問五	問四	問三	問二	問一	⑥	①	⑥	①
													⑦	②	⑦	②
													⑧	③	⑧	③
													⑨	④	⑨	④
													⑩	⑤	⑩	⑤

受験番号
座席番号
名前

2021年度
第一回一般入試 入学検査問題
国語・解答用紙
聖学院中学校